



令和元年 6 月 No.299

学 校 だ よ り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地 2 丁目 13 番 1 号

待つことの大切さ

校長 平山 尚彦

早くも気温が 30 度を超える日もありましたが、校庭では初夏の日差しに木々の葉、バラやサツキの花が明るく美しく輝いています。

令和になってはやひと月が経ちました。年のせいなのか、時の経つのが年々早くなっているように感じてしまうこの頃です。しかしそれは、常に慌ただしく、物事に対して受け身になってしまっているからかもしれません。

月の呼び名に立待月、居待月、寝待月、更待月というのがあります。月の出を待つ様子から名付けられたものですが、昔の人が月の出るのを待ちながら月を愛でていたことが伝わってきます。そこには待つという行為を能動的にとらえて楽しむ豊かさを感じられます。

昨今の生活を振り返ると、効率を優先するあまり先を急ぎ、待つことができなくなっているように感じます。同時に、待たない、待たせないためにさらに余裕をなくしているようにも思います。

私たちの日々の授業も、限られた時間の中で子どもたちに豊かな学びをしてほしいと、さまざまな工夫や準備をしていますが、先回り、お膳立てをし過ぎて、子どもたちが自力で見いだせることまで教えてしまっていることに気付き、反省することも少なくありません。学習のみならず、つい結果を急いでしまいがちですが、子どもたちが自らの力で考え、やり遂げることを見守り、待つことを大切にしていかなばと考えています。

1 学期も振り返し点を迎えました。今月は子どもたちが自分たちの力でつくり上げる京築まつりもあります。紆余曲折もあるかと思いますが、子どもたちの成長の糧となるよう見守り、当日を楽しみに待ちたいと思います。

6 月の行事予定

- 1 日 (土) 土曜学校公開
PTA スポーツ大会
避難訓練(引き取り)
- 3 日 (月) セカンドスクール始(4 年)
親子給食
- 5 日 (水) セカンドスクール終(4 年)
- 6 日 (木) 安全指導
- 7 日 (金) 委員会 縄跳びデー
- 10 日 (月) 個人面談③ 白鶴田植え(5 年)
- 11 日 (火) スポーツテスト
個人面談④
- 13 日 (木) 個人面談⑤
- 14 日 (金) プール開き 個人面談(予備)
- 17 日 (月) クラブ
下水道キャラバン(4 年)
- 18 日 (火) 校外学習(3 年)
- 20 日 (木) 校内研究会(2 年 2 組授業)
- 22 日 (土) 土曜授業日
京築まつり
- 24 日 (月) 自転車教室(3 年)
学校評議員委員会
- 25 日 (火) 開校記念日 保幼小連携
- 27 日 (木) 校外学習(4 年)

下校時刻変更のお知らせ

- 7 日 (金) 14:45 (3・4 年代表)
委員会のため
 - 20 日 (木) 13:20 (2 年 2 組以外)
校内研究会のため
 - 25 日 (火) 13:20 (1 年)
保幼小連携会議のため
- 個人面談期間中
全校 14:15 ごろ下校



最高学年として（6年生）



ぼくは、最高学年として、ルールを守り、低学年のお手本になるような行動をしたいです。低学年だけでなく、学校のお手本として過ごすことで、残りの一年間、最高学年として誇りのもてる一年にしたいです。 ○○ ○○

私は5年生の時に、下級生をまとめる6年生を見て、「かっこいいな」と感じました。私があこがれた6年生のように、困っている下級生を見つけて、優しく声を掛けられる6年生になりたいです。 ○○ ○

私が6年生になって、頑張りたいことが二つあります。一つ目は、学校を引っ張っていくことです。学校全体をまとめ、学校をよりよくしていきたいです。二つ目は、下級生のお手本になることです。特に、一年生には正しい習慣を身につけてあげて、立派な京橋築地小の児童として次世代につなげたいです。 ○○ ○○

ぼくは今年で6年生になり、毎日1年生のお世話をしています。

1年生はまだ入学したばかりで、学校のルールなどは知りません。だから、ぼくたち6年生が1年生にいろいろなことを教えていきたいです。また、全校の良いお手本になれるように頑張りたいです。 ○○ ○○

私が6年生として頑張りたいことの一つ目は全学年のお手本になることです。下級生に六年生のよいところを見つけてほしいです。

ぼくは、最高学年として下学年のお手本になり、京橋築地小を良い方向に伸ばしていきたいです。

二つ目は、マーチングです。リズムが乱れないように練習を重ねています。最高学年として、上手に演奏できるようにしたいです。 ○○ ○

特に、まだ入学したばかりの1年生にはあいさつや礼儀、学校のルールを教えてあげたいです。 ○○ ○○

挨拶について

生活指導主任 幸地 裕助

今朝も「おはようございます」と元気に挨拶をしている子供たちの声が聞こえます。京橋築地小学校の子供たちは、とても礼儀正しい子供たちが多いです。しかし、少し恥ずかしがり屋な面もあります。私の学級では、子供たちに次のような質問をしました。

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ①毎朝、起きたときに家族に「おはよう」の挨拶をする。 | はい・いいえ |
| ②家を出る時、帰ったとき「行ってきます。」「ただいま」を言う。 | はい・いいえ |
| ③朝、道や学校で友達に会った時、進んで挨拶をする。 | はい・いいえ |
| ④安全を見守ってくださっている保護者や警察の方に挨拶をする。 | はい・いいえ |
| ⑤学校で、大人の人に会った時、知らない人でも挨拶をする。 | はい・いいえ |

挨拶は、人と人の心を繋ぎ、人を元気にしてくれる「魔法の言葉」です。また、挨拶の有無や、挨拶の声のトーンで相手に対しての印象も変わってくるものです。

子供たちの中には、親しい友達どうしなら挨拶はできるけど、学校や地域のために働いている方や知らない人には挨拶はしたことがないという子供が、上の質問を見ると意外と多くいました。

私は、駅の駐輪場で自転車の整理をしてくださっている方に「おはようございます」と進んで挨拶をしています。ある日、一週間ほど自転車を利用しない期間があったことがあり、久しぶりに駐輪場に行くと、「久しぶりだね。おはようございます。」と相手の方が声をかけてくださりました。私は、たくさんの利用客がいる中で、覚えてくれていることに嬉しく思いました。挨拶をすることで、知らない方ともこんな人間関係ができることがあるのです。

挨拶は、よりよい人間関係を築く上で、子供たちに身に付けさせたコミュニケーションツールです。挨拶があふれる地域・家庭・学校にしていけるよう、皆で子供たちを育てていきましょう。